

ごみを減らし 豊かな環境を 次世代へ

～山形市の家庭系ごみの有料化に関する考え方～



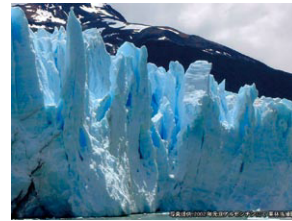
減量すすむくん

地球環境を守り、限りある資源を次の世代に残すことは、わたしたちの責任です。
ごみを減らし、資源を大切に使う、資源循環型の社会にかえていく必要があります。
そのためには、ごみ減量・もったいないねっと山形の活動やレジ袋削減の取組みに象徴されるように、市民・事業者・行政の連携・協力が必要不可欠と考えています。
ごみを減らして、子どもたちによりよい環境を残しましょう。

山形市長 市川 昭男

なぜ有料化が必要なので

今、地球規模の温暖化が深刻な環境問題を巻き起こしています。日本でも、猛暑などの異常気象が増え、農業・水産業への影響も始めています。

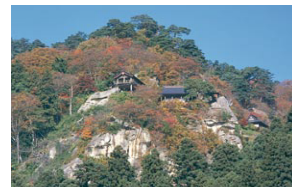


山形市は、これまでの大量生産、大量消費、大量廃棄型の社会から脱却して、持続可能な循環型社会づくりを推進してきました。



上記3点の写真は「全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイトより (<http://www.jccca.org/>)」

ごみの有料化は、さらなる循環型社会の形成や地球温暖化対策のため、ごみ減量・資源化の有効な対策の一つと考えております。



山寺

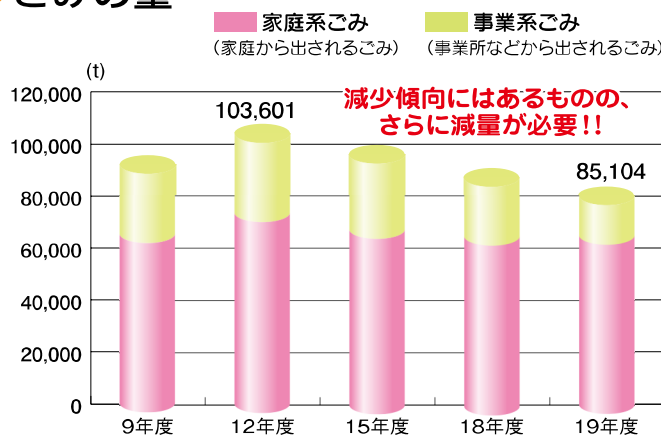


蔵王

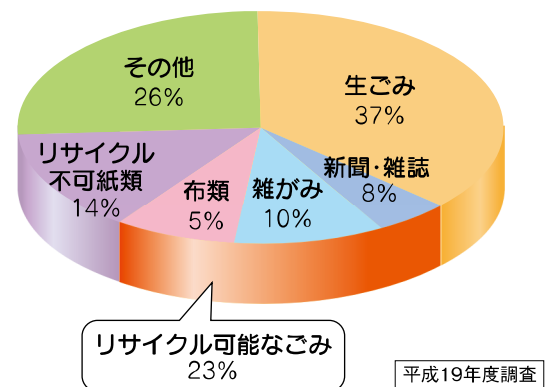
一人ひとりがライフスタイルを見つめ直し、限りある資源を大切にし、ごみの分別・リサイクルにみんなで取り組みましょう。

山形市のごみ処理の現状

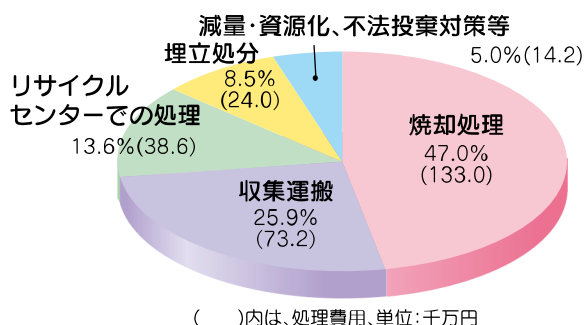
◆ごみの量



◆家庭から出るもやせるごみの内訳



◆ごみ処理費用の内訳



ごみ処理費用・
(平成19年度)

約28億円

1人当たり年間・

約11,000円

小学校建設費・
(体育館・グラウンドなど含む)

約21億円

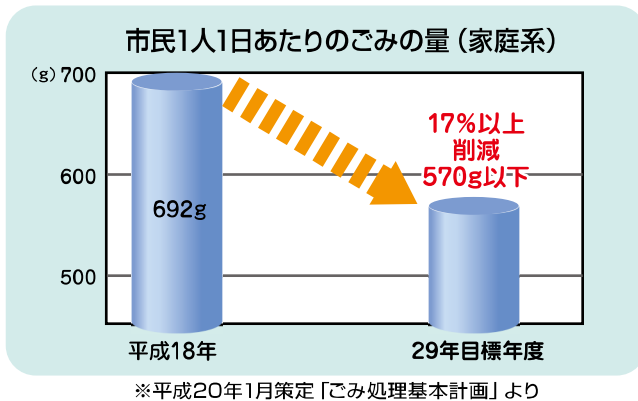
しょうか？



◆これまでのごみ処理・ごみ減量の取組み

- 平成 7年…… 3分別から7分別に変更、指定袋の導入
- 11年…… ペットボトル分別回収により8分別収集
- 13年…… 集積所の古紙類分別収集の開始
- 17年…… 集団資源回収及び集積所の古紙類回収品目に「雑がみ」追加
- 18年…… 「ごみ減量・もったいないねット山形」設立
- 19年…… 布類及び紙類の資源化促進に向けた取組みを開始
- 20年…… レジ袋無料配布中止の取組みを開始

◆ごみ減量に向けた目標数値



◆現在のごみ分別

- もやせるごみ
- ビン・カン
- ペットボトル
- 雑貨品・小型廃家電類
- プラスチック類
- 水銀含有ごみ
- 埋立ごみ
- 粗大ごみ
- 古紙類(新聞・雑誌・雑がみ・段ボール)

◆県内の有料化状況



ごみ有料化の必要性

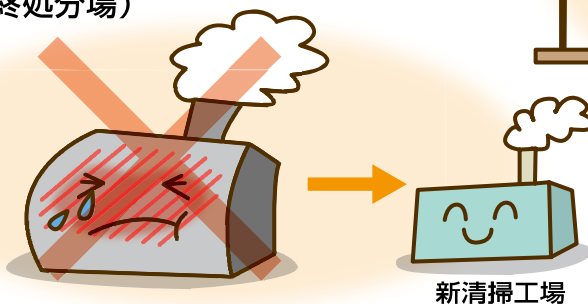
1 ごみの減量・資源化の促進

「ごみになるものは、もらわない」
「資源は分別してリサイクル」
みんなの意識が変わります。



3 処理施設への負担軽減と経費節減 (清掃工場・最終処分場)

ごみを減らすことにより、古くなった現在の施設への負担を軽くし、新たな施設の経費を抑えられます。



2 ごみ処理負担の適正化と公平性の確保

減量・分別をしない人ほどたくさんのごみを出しており、その処理のために多くの税金が使われています。

